【Thanatar】

# 説明

## 解説

### ■神殿

混沌。

### ■称号

“ 切り裂かれた神 ”。

### ■概略

首を切り落とし、相手の知識と魔術を奪う神。ランカー・マイとウロックスの敵。

大暗黒の時代、悪魔の息子に混沌の軍神ティエンという神がいた。彼はスパイクに忍び込み、ランカー・マイの妻、光の女神を殺害しその首を刈り取って、その知識を我が物とした。そうして混沌の軍勢を率い猛威を振るっていたが、ある日、地獄にウロックスの息子、“ 有角の ” フロスミールがやってきた。両者は戦い、フロスミールの死と引き換えにティエンの首は引きちぎられた。首を失ったその肉体は自分の首を見つけることもかなわず、人間界へとさ迷い出でて、首のない怪物サンとして崇められた。

そして首もまた死んでいなかった。首だけとなって生きていた。しかしそれは妻を捜して旅に出ていたランカー・マイに見つけられ、踏みつけられて水の領域へと放り投げられた。こうして首は目覚めることなく眠り続け「曙」を迎えたが、その首を発見するものがあった。ランカー・マイの信者の裏切り者である。こうして目覚めた首はアトヤーとして崇められた。

長い年月を経てサンとアトヤーの信仰は再び出会い、ここにサナターが生まれた。

## 神知者分類法

「死」、「暗黒」、「混沌」、「真実」

## 参考文献

・『Shadows on the Borderlands』p.-